

## 富山市公募提案型協働事業 【報告】



突撃レポートで地域の魅力を再発見  
富山応援隊

## 富山市公募提案型協働事業 【事業計画】

<p>現状における課題と 事業目的</p>	<p>【課題】 行政では様々な取り組み（地域活性化や地域振興など）を行っているが、「行政がやっていること」「誰かがやること」「自分には関係がない」などの意見をよく耳にする。また、前年度事業の意識調査では約8割が「他人事」として受け止めている。</p> <p>【目的】 若者の郷土を愛する心を育て、地元富山を誇らしげに語れる市民を増やす。行政の取り組みを身近に感じ地域を良くしていこうとする当事者としての意識を養う。「自分事」として自主的に活動できる場を提供する。</p>
<p>事業内容 (課題解決の方策)</p>	<p>行政や社会の課題を身近に感じてもらい「自分事」として参加できる仕組みを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業・大学・NPOなどに呼びかけ連携を強化し協力団体を増やししながら、前年度の活動項目（環境美化、魅力発見・情報発信）をより進める。</li> <li>・ シビックプライドに関連するセミナーと広めるPR活動を実施する。</li> <li>・ 富山マラソン応援プロジェクトではアメージングトヤマを環水公園に設置し、広く市民（マラソン参加者及び県外観光客）にPRする。</li> <li>・ 本事業活動や行政の取り組み、地域の企業などを若者が取材し、若者目線の情報をWebなどで県内外に発信する。（突撃レポート）</li> <li>・ 市民だれもが気軽に意見を出し合い、多世代の輪を広げられるミーティングを月1回程度実施する。（突レポミーティング）</li> <li>・ ミーティングでは、新規参加者を巻き込みながら若者の意見や考えを取り入れ次回の突撃レポートを企画する。</li> <li>・ 活動報告パネル展を市内数か所で実施する。（市役所・図書館・その他）</li> </ul>
<p>提案者が担う役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃活動、体験会、勉強会の実施</li> <li>・ 突撃レポート（企画運営・情報発信）の実施</li> <li>・ 富山マラソンに於けるアメージングトヤマPR活動の実施</li> <li>・ 活動に対しての発表と情報発信</li> <li>・ 多世代の輪を広げられる交流会の実施</li> </ul>
<p>市が担う役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業に対しての助言や情報提供</li> <li>・ 市民や学校に対しての広報</li> <li>・ 成果発表場所の協力（市役所多目的スペース・富山市図書館など）</li> </ul>

## 協働事業の目的

- ・まちへの愛着を育む
- ・地元富山を誇らしげに語れる市民を増やす。
- ・行政の取り組みを身近に感じ地域を良くしていかうとする当事者としての意識を養う。
- ・「自分事」として自主的に活動できる場を提供する。

この活動を通して、「郷土を愛する心」と行政の取り組みを身近に感じ  
地域を良くしていこうとする当事者としての意識を養う

地域や行政の取り組みを聞いたり  
見たりしてみる

知ることによって興味が湧いたり好きに  
なることがある

身近に感じる

地域への愛着が深くなる

社会貢献活動の大切さを学び、  
楽しさや達成感を感じてもらう  
《豊かな人間性が養われる》

地域の魅力を発見できる  
新しい観光資源として活用  
観光資源のブラッシュアップ

県外に行っても地元の魅力を自信を持って紹介出来る

クチコミやSNSで情報発信し  
観光消費や地元消費に繋がる

観光関連産業が活性化し新しい雇用が生まれる

若者の地域愛が深まり地元で就職したくなる

県外への流出が減り定住者が増える

住みやすく・働きやすく・遊びやすい（観光に行きたくなる）富山になる

## 富山市公募提案型協働事業 【実施内容】

6月14日(金)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	12
6月14日(金)	ご近所クンナップ大作戦	102
7月12日(金)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	8
7月12日(金)	ご近所クンナップ大作戦	99
8月02日(金)	浴衣でビアガーデンin大手モールBar（市民多世代交流）	43
8月18日(日)	ふるさと美化大作戦①セレモニー&大手モール清掃	85
8月18日(日)	ふるさと美化大作戦②岩瀬浜海岸清掃	97
9月6日(金)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	9
9月08日(日)	富山を元気にするセミナー【シビックプライドの大切さ】	29
9月13日(金)	ご近所クンナップ大作戦	86
10月4日(金)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	8
10月11日(金)	ご近所クンナップ大作戦	-
10月12日(土)	富山味わいフェスタ	雨天中止
10月27日(日)	富山マラソン応援プロジェクト	117
11月1日(金)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	12
11月08日(金)	ご近所クンナップ大作戦	105
12月22日(日)	学生×社会人多世代交流会（市民多世代交流）	58
1月12日(日)	市民若者意見交換会（突レポミーティング）	10
2月02日(日)	富山市協働事業セミナー「シビックプライドのつくりかた」	42
2月12日(水)	富山市公募提案型協働事業報告パネル展 1週間 富山市役所多目的ホール	(700)
2月17日(月)	富山市美化推進巡視員研修会における講演活動	80
2月23日(日)	学生×社会人多世代交流会 スペシャルライブ（市民多世代交流）	47
3月5日(木)	富山市立図書館 富山応援隊活動パネル展 3週間 キラリとやま5階	(300)

富山市協働事業『清掃活動で地域の魅力を再発見!』

協働事業 延べ参加者人数 2, 049名

美化活動	7回	574
セミナー・発信活動（FM発信含む）	6回	1,268
多世代交流会（ミーティング含む）	9回	207

イベント延べ参加者数

56,425名

コミュグループ参加者数

6,179名

富山応援隊 隊員数

704名

協議体名	富山応援隊（富山市公募提案型協働事業）
代表団体	まるごとTOYAMA
構成団体	ネッツトヨタ富山株式会社 朝活ネットワーク富山 コミュニティ“マチトボクラ” 全国繊維化学食品流通サービス 一般労働組合同盟 富山県支部

協 力

## 富山県

株式会社ヤマシタ

サクラパックス株式会社

AD.STUDIO ナガモリ

富山大学

富山国際大学

富山短期大学

富山福祉短期大学

富山大原学園

富山国際大学附属高等学校

海と日本PROJECT

富山マラソン実行委員会

帝石パイプライン(株)富山支所

富山テレビ放送

前田薬品株式会社

学生団体MiNs

TEAM AVANTE



# 市民レポーターがWebを使ったレポートの発信

地域・・・越中大手市場実行委員会  
企業・・・ネットヨタ富山  
行政・・・富山市 広報課

富山の「商店・行政・地域行事」を”楽しみながら”取材/記事編集する市民チーム

私たちの身の回りのことを”楽しみながら”  
「一緒に考え・共有し・発信する」



越中大手市場実行委員会  
会長 秋吉克彦さんにインタビュー

まちのにぎわいを「イベント」から「平常・日常」に変えていきたい。特別なイベントごとではなく、生活の一部に人と人が出会うきっかけをつくる。



「大手町はまちなかのポテンシャルの高い土地。(近くに城がある、交通も便利、でも静かな場所)自分はこの土地が好きだし、愛着がある。その場を殺し場にはしたくない。もっと素敵な場にしていきたい。続けていくことで改善していくことができる。やめたらそこでおしまいでしょ。」

ネットヨタ富山株式会社様  
代表取締役社長の笹山氏にインタビュー

貴社の取り組みは、地域や社員一人ひとりまでにも目を向けていた。



CSR 活動。企業が社会的責任として行う活動のことです。ネットヨタ富山さんでは、この活動の一環として地域清掃を行い、企業が立地している地域にも貢献をしたいとのことでした。ここ数年では、地域清掃とイベントのように開催して参加特典などにオリジナルのトングや軍手を配布もしている！

富山市役所広報課  
佐伯 哲弥さんにインタビュー

富山を元気にするセミナー【シビックプライドの大切さ】に参加して  
「富山を愛するにはまず富山を知ること」



「知ることで好きになれる」シビックプライドの大切さでは、どうして富山でシビックプライドが重要なのでしょう。結論から言うと、定住人口の維持・増加が理由です。

# 富山シティエフエムで毎月最終週は「市民レポーターと語る富山のコト！」 市民レポーターが富山の面白いモノ、コト、人を紹介。



翔さんにスポットを当てて特集します。[4面に関連広告]

[withRadio] 内「輝トキト」月～木 10:40～  
最終週は「市民レポーターと語る“とやまのこト!”」

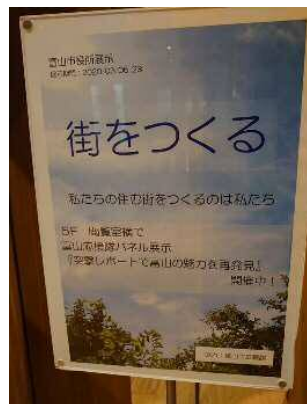
「住みやすく・働きやすく・遊びやすい富山」を創ることを目的としたボランティア団体「富山応援隊」メンバーが、街なかの商店やイベントを熱く紹介します。



2015年、すべての国が参加する形で、20



## 事業活動パネル展に寄せられた若者の感想 北陸大学1年生から



富山応援隊の事業報告を閲覧して、富山のために行動を起こしたいと考える人たちが、様々な活動を行っているということを知りました。この事業報告展示をきっかけに、私自身も地域活性化ということに興味を持つことが出来ました。

富山応援隊の活動を見ると、街なかや海岸の清掃活動以外にも、人と人が交流することができるような企画の開催をするなど、様々な活動をしていることが分かります。

「富山のために何かをしたい」という思いから、『住みやすく・働きやすく・遊びやすい(観光しやすくまちに出掛けやすい)富山をつくる』というはっきりとした目標が生まれたのでしょうか。

この事業報告の展示において、とても印象に残っているのは写真でした。多くの写真が展示されていましたが、そのほとんどの写真は笑顔であったので、楽しく活動を行っている団体なのだという印象を持つことが出来ました。

ボランティア活動を行いたいと思う様々な世代の人がいる中で、特に学生は、「地元貢献したい」と言う人が多く居ます。しかし、言葉では言っているけど、地域貢献のために何か具体的に行動を起こしているかと言われると、そうではない人のほうが圧倒的に多いと思ういます。

富山応援隊の活動は、富山の自治体・企業などとも共同で活動を行っていたりします。また、活動の種類が多いので、地元貢献できるような活動を少しでも行ってみたいと考えている私にとっても魅力的だと思いました。

富山のために活動を行っている団体があり、その団体を通して様々な活動が生まれているということを知ることが出来たのは、良かったと思います。

この富山応援隊の活動をもっと周囲の多くの人たちにも知ってもらい、認知が進んで行けば、より一層富山の活性化につながっていくのではないかと思います。

北陸大学一年 匿名希望

## 事業活動パネル展に寄せられた若者の感想 金沢大学1年生から

大学に入学して一年、他県からの学生と交流する機会が増え、自分の地元について互いに紹介することが多くなったように感じます。私はそんな時、いつも「富山県は食べ物が美味しくて、自然豊かな県だよ」という程度のことしか紹介できません。

それ以外にもっと富山県の魅力を知ってほしいと思っても、具体的に何が魅力であるかと言われると自分でもすぐには答えることができません。

今回、富山応援隊の活動理念や実際の活動を見て、自分自身が富山をよりよくしたいと思って何か行動することで富山の魅力を再発見できるのだということがわかり、私も富山の将来のために行動に移していこうと思いました。

まず、住みやすい富山を創るために、3RのうちReduceが最も大事だと知ったので、食品店はもちろん衣料品店での買い物の際にもマイバックを持参して、プラスチックごみを減らそうと思います。

しかし、「働きやすい富山を創る」こと、「遊びやすい富山を創る」ことについては自分自身ができることは少なく感じます。そのため、団体や県全体で取り組まなくてはいけない課題だと考えます。特に「遊びやすい富山を創る」ためには、県全体で方針を統一した投資が必要だと考えられます。

近年、ガラス美術館や富山県立美術館がリニューアルするなど、富山県では「アート」で観光業を盛り上げる動きがあるように思います。外国でも荒廃した街に若い芸術家を招き芸術活動をさせることによって、街全体が観光資源になり、多くの若者や観光客が訪れ、景気が回復したという事例があります。アートは地域を活性化させるために重要な観光資源です。そのため、ガラスや銅器などの富山の伝統技術とアートを組み合わせる等して「遊びやすい富山を創る」ための投資を今後も拡大していくとよいのではないかと思います。

私は大学卒業後、富山に戻り富山で就職したいと考えています。それは偏に家族が近くにいるという安心な環境で生活したいと思うからです。しかし、住みやすい富山を創るためにごみを減らすことで清掃への無駄な投資が減ったり、多くの観光客がアートを楽しむ遊びやすい街になることで経済が潤ったりすることで、「働きやすい富山だから、富山に戻り富山で就職したい」と思えるようになるのではないかと思います。

今回、富山応援隊の活動を初めて知りましたが、富山を守るために真摯に活動されていることを知り、私も大切なふるさと富山を守るためにできることから始めてみようと思いました。」

金沢大学1年 Sさん



# 市民レポート 多世代交流会に参加して 富山大学1年生から

12月の多世代交流会で私が感じたことは、社会人の方々は、富山を自ら活気づけようとするパワーがあるということです。

このことは私が4月に大学入学したと同時に富山に来た時からうすうす感じていたことでしたが、この日それが確信になりました。

確かに日本全国各地で社会人によるセミナーや町おこし等は行われているため、富山に限ったことではないかもしれませんが、私が自分の目で見て、耳で聞いた、富山の人たちの元気さや、気持ちの若さには衝撃を受けました。

この日私は、富山応援隊の方にお話を聞きました。Aさんは、富山応援隊は発足した時から活動しており、普段は清掃活動や地域の魅力発見のためのリサーチをしているそうです。

Aさんが活動する理由は、富山の県内外からの低評価を払拭すること、富山の魅力を再発見し、「どこにもないちゃ」から「こんなのあるんだ!」という変化を生むこと、でした。

また、地元の大農家であるBさんは、農家であるという特性上、外部の人達との関わりがやすく、コミュニケーションが取りにくかったため、「人と話したい!」という思いから入隊を決めたそうです。今では共通の趣味の友人ができ、一緒にコンサートに行くほどの仲になったそうです。

2人の思いは全く違うものですが、共通しているのは、「思いを行動にする力」だと思います。社会人になっても仕事と家庭(もしくは私生活)以外のサードプレイスを持つ人とするパワフルさや勇気は素晴らしいものだと思います。

また、多種多様な人々が集まって、1つのことに取り組むことは、まるで部活やサークルのようでとても魅力的だと思います。

大人になっても夢や目標を持って活動することをあきらめなくていいんだと思うと元気が出ました。そういった富山の人達の取組や成果、パワーや意志が街に表れているのだと思います。

富山大学1年 秋元結羽



## ピリカ体験会に参加して 市民からの声

～参加者の声(野口さん)～

富山県の海辺のゴミを県が調べた結果

8割が富山県内(内陸)から出たゴミだったのには衝撃を受けました。  
と言うことはポイ捨てや町中でゴミを拾えば、富山の海は今より8割綺麗になる。海外からの漂着物は2割  
内陸を綺麗にすれば富山の海水浴場は綺麗で泳ぎ易い海になる。  
今日はピリカセミナーを聞いて本当に良かったです。  
知り合いにも伝えていきます。

～参加者の声(岡本さん)～

投稿までちょっと勇気が足りなくて投稿できてなかったのですが投稿したら、「ありがとう」やコメントをいただき、モチベーションも上がりました。  
これから機会あれば積極的に利用したいと思います。

～参加者の声(五十嵐さん)～

今日は実戦は出来ませんでした、富山応援隊のピリカのセミナーを聞きに行きました！  
これまで中々参加できなかった、ピリカと言う名の企業だとは知りませんでした。  
世界中のみんなが協力して地球を綺麗にしていくって発想は素晴らしいですね。  
まずは自分が出来る範囲で、やりたいと思いました。

～参加者の声(服部さん)～

ゴミ問題を考えるいい機会となりました。ありがとうございました。  
日本人のポイ捨ては、一人一人の意識の持ち方で変わると思います。  
自分に何か出来ることはないかを考え、行動に移していきたいと思いました。



## 市民若者意見交換会(突レポミーティング)の様子



## 事業関連セミナーの様子





## 事業活動パネル展の様子(富山市立図書館・富山市役所多目的ホール)



# 野外での活動PRの様子



## 美化清掃活動の様子



## 美化清掃活動の様子(こどもたち)



## 多世代交流会の様子(越中大手市場実行委員会とのコラボ)



## 多世代交流会の様子(学生団体とのコラボ)



## その他の活動の様子



## その他の活動の様子





事業協力団体 学生団体MiNs



事業協力団体 TEAMAVANTE



富 山 応 援 隊

検索



facebook



YouTube

LINE@